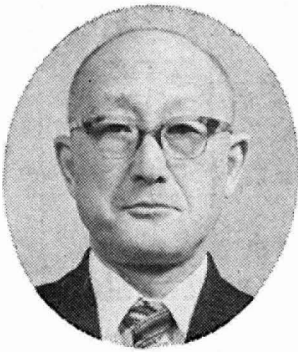


広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 文書広報課 ☎ 0188 62 代 2100
印刷所 湖東印刷所 ☎ 0188 62 2430 一部35円 毎月 1 日・15 日発行



五城目町長

加賀谷力司

年頭に当って

石村

あけましておめでとう

伊藤石村氏揮毫

あけましておめでとうございます。
輝ける新年の門出にあたり、町民の皆様の一層のご健勝とご多幸をお祈り申しあげます。
日々新たな気持ちのもと、昨年よりなご一步、今日より明日はなご一步前進すべく、町民の皆様とご一緒に町勢進展に邁進したいと存じます。
これまで、町づくり、町の諸施設の整備については、昭和四十四年度を初年度に、六十年を目途とした総合開発計画に添い、周囲の縁を尊重しながら馬場目川の水を前向きにとらえ、地域性、或いは、財政的な背景をふまえ、町民の皆様に係りの深いものから取りあげ、総合的、体系的に進めて参ったところであり、五城目、内川、大川の各保育園、町民センター、大川小などの教育施設、恋地スキー場、広域体育館、テニスコート、温水プール、相撲場、弓道場などの保健体育施設、また各地区集会所、農村環境改善センター、赤倉山荘のほか、野鳥の森、森山森林公園、日本庭園などの整備をして参ったところであります。
更に昨年は休養センター（恋地山荘）の完成のほか、長い間皆様方に不便をおかけしておりました役場庁舎が十一月二日、磯ノ目地区に竣工いたしましたところでございます。
五城目高校、法務局五城目出張所、警察署、保健所などの新改築、更には二八五号線バイパス予定線の地内完工、中央線の改修などの交通体系も含め総合的にほぼ同一時期の完成を目標に推し進めて参ったところ想定期間内に整備を完了し、長期的展望が現実のものとなり、町づくりの核が出来上って参りました。
また一方、世界的景気低迷の中、本町の基幹産業も多くの悪条件に直面しながら、町民の皆様特有の創意工夫と活力により、天の試練に打ち勝ち、全国的な不作の農業においては、三年続きの冷害を見事に克服し、豊作に結びつけるなど、一条の光が確実に差し込んで参りました。
皆様のご理解とご協力のもと、本町行政推進の基盤も概ねできあがりどっしりとゆるぎない根が張りました。また明るい展望が開けて参りました。今後はこの基礎に、この根に、いかに実を結ばせてゆくか、活力ある町にしてゆくかにかかっていると思います。
新しい節目を迎えた今、職員共々職務の責任をかみしめ心を新たに、町民の皆様と相携え、活気あふるる田園都市づくりを前進して参りたいと存じます。
亥年元旦、本町の力強い前進、大いなる躍進を願い、あけましておめでとうございます。

あけましておめでとう

当り年を迎えて

今年十二支の「亥」に当ります、干支では「癸」みずの「亥」で、六十干支最後の「え」と「だ」そうす。占いの本には、景気の回復は望めそうになく、国民生活は「一層の辛抱を強いられるでしょう」と、あまりよくないことが書いてありました。しかし、これは占いのこと、昨年思わしくなかった人は、今年はその分をとりもどすくらいにすばらしい年であってほしいと思います。また順調であった人は、よりいっそう発展する年にしてください。

年の始めに当たり、町内の亥年生れの人たちに、新年を迎えた感想を語ってもらいました。

亥年生まれの人、決断力に富み、物事に積極的で、率直に自分の目的に向かって進むとか。でも短気で、他と妥協せず、他人と争いがちであるといわれています。みなさんはどうでしょうか。

長所を伸ばし、短所を克服して、心に決めたことが実現する確り多い一年であることをお祈りします。

目標をもつて中学校へ

馬場目小学校 草皆 晶子

昭和五十八年という年は私の年で、馬場目小学校を卒業する年でもあります。そして、昭和五十七年は反省すべき年でもあると思います。勉強、スポーツ、など反省することがたくさんあり、それを直すべき年が今年なのです。

四月、中学校へ。中学校はクラブ活動があります。私はこの六年間の中でスポーツはあまりよくなかったほうなので、このクラブ活動には特に力をいれなければいけないと思います。そのためには、何のクラブに入っても、最後まで



十分発揮できるようにがんばります。今、不得意な科目もなんとかがんばって好きになれるように努力

人生と思い出

川原町 永井慶二郎

私の生年月日は大正十二年一月六日である。干支は癸亥。この日は消防の出初式の日でもある。男の誕生日としては縁起のよい日である。小さい時から思ってきた。この世に生を受けて六十年、振りがえりとあつという間に過ぎ去ったというのが、偽らざる心境である。

考えてみると私の生まれた年には、関東大震災があり、昭和六年には十五年戦争へ突入、十八年には学徒兵として海軍航空隊へ入隊と、あの頃の私達には、明るい希望にみちた青春時代などというも

のはなかった。二度と再び故里の土を踏むことはないであろうと、覚悟を決めていたが、はからずも二十年の終戦によって、私の生命は救われたのである。あの時の虚



無感は今もって脳裏に焼きついて離れないのである。

文豪トルストイは「あとになって思い出とするに足る日々を送れ」といつている。毎日毎日のない生涯をと言言しているが、まさに

「今」を大切に

久保 一関 鋭子

明けまして

おめでとうございます

昭和十年の亥年生まれで今年が当り年。人生の半ばを過ぎたこの時期に、日頃の生活を見なおしたいと思います。

先ず二十二歳の息子、十八歳の娘と、歳だけは一人前の人間が、目の前にドッカリと腰をおろしてあります。このような状況でありながら、私は婦人会その他の活動で、主婦が家にいることを時々忘れて、動きまわってみたいとおります。

今までと違って、経済優先の時代から、心の豊かさを求められる時代に突入した今日、自分の内面を

そのとおりだと思ふ。人生五十年といったのは昔のこと、現代ではこの年はまだ青年のまっさかりで人生はこれからということを考えれば、正に隔世の感深いものがある。

今は寿命が七十数歳平均にまで伸び、七十歳といえど、古来稀な年齢ではなくなった。だからいくつをもつて年老いたとするかは、人により、国により、時代により必ずしも明瞭ではない。

さて心に残る思い出とは何であろうか。私も三十五年間の教員生活について、あるいは趣味、交友など、また、少年、青年、壮年各期の生活について、真に思い出と呼べるものがあるだろうか、よく考えることがある。

人生における成功、不成功は別として、一つのことのまっさかりであったのだという、確信や満足感が大事だと思われる。思い出は多いにこしたことはないが、少なくとも一つ一つであったとしても、真に思い出に値するものなら、それなりの意義と強味を持つはずである。

「六十周年順」とは、人間六十歳にもなれば、他人の意見を聞いても、その理由がすなおに理解できるといふことを教えているのであるが、私などはまだまだ、そこまですべてに達しないのが残念である。しかしこれからの人生を、人として守るべき道を、ふみはずすことのないように前進したいもの、肝に銘じている昨今である。

豊かにするために、「五十の手ならい」でもと考えてみたりしております。

主婦として、家族のことは当然のこと、ただそれだけでは、何でも便利になった現代において、



考えを改め、多様化した現代に対して、柔軟な姿勢で望みたいと思っております。そのためには例えば、日常のテレビやラジオから得る情報を一つ一つ正しく見極め、それを基に、地域の皆さんとのコミュニケーションに役だてて行きたいものです。

老後のことをとかく心配せずに、「今」を大切に、自分で出来ることは一つ一つあわせて仕上げるようにしていきたいと思っております。猪突猛進にならないようにブレーキをかけながら。

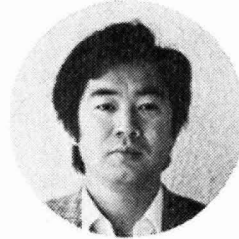


公私ともに

飛躍の年に

矢場崎 児玉 徹

新年あけましておめでとうございます。
 亥年は私にとって三回目の当り年です。



終戦後、「新生日本の子供達の誕生」とおだてられた昭和二十二年に生まれました。食べ物の少ない子供時代。ベビーブーム世代と呼ばれ、語学級と新教育課程で

見る事・聞く事・考える事

小池町 渡辺 タカ

新玉の神酒と若水神仏にかしこみ供えて先ず事始

いつもながら元日は身も心も引き締まる日でございます。そして自分の年齢を改めて厳粛に受けとめるのもこの日ではないでしょうか。若い頃は新年を迎える度に今年こそと張り切って子供達の成長に賭けたのですが、子供達も夫々自立して手許から離れてしまい、反対にお母さんもうそんな齢と言われたりしますと、ずっこといってこんな事かと自分がおかしくなっています。

の受験戦争。日本経済の復興を世界に示した東京オリンピック。学生時代は学園闘争で民主主義アレルギー。卒業後、農林省と農林試験場に十四年間勤務し、一貫して激動する農業の研究に従事して参りました。

この間三十六年、ただ社会の趨勢(すう)勢に漫然と過して来た様に思います。

公務にあつては、農業を取りまく情勢が増収時代から良質米生産そして、減反政策と農家の生産意欲は年々薄れ、農業所得も減収の一途をたどっています。

そこで、土地利用の生産効率を高めるため、田畑輪換を導入し、土地基盤、土壌養分、栄養生理の面から、水稲、大豆、秋播小麦の安定多収を目差して研究を進め、秋田県に定着する新しい技術の確立のために頑張りたいと思っております。

近頃、社会問題としてとり上げられる中に老人問題の多い事がございます。私はその事についていろいろ考えさせられます。そして私なりに老の自立の大事さを思う



のであります。家族意識が変ってきた現代に、戦前の意識を持っているがために問題があるのではないかと思うのです。これを解決するには、どうすれば良いのか。私の家には高校の孫が二人おり、そ

ります。

夢は、世界でも例のないモンスーン地帯の田畑輪換を目差したいものと考えております。

家族は母と妻と男の子二人の五人で矢場崎に住んでおりますが、いつでも大勢の人達がおとずれる様に環境と家庭を築き、健康で明るく楽しく過したいものと思っております。

子供達は自然の中で伸び伸びと育つ様に接し、学校生活や家庭生活を通じて、人と人とのふれあいを大事にし、素直な子供に育てたいものです。

とかく、亥年生れの人は、「猪突猛進型」と言われますが、私はゆっくりと自分を見つめながら歩き続け、自分の当り年を期して、今年からは公私にわたって飛躍の年にしたいものと思っております。

の日の学校であった事、途中であった事など、帰ってきますと話題が賑やかで楽しんでいます。市場へ出ていろいろの方たちと話し合うのもかけがえのない楽しみです。

いろいろ聞く事、見る事、考える事が大事なのではないと思います。それがたとえ自分の年代としては異質の事であっても、不消化な事であっても、自分なりに消化して時代にとけこめたらもっと生きがいがあるのではと思うのです。

老の自我意識に閉ざされる事なく、そくばくされる事なく見る、聞く、考えるをモットーとして今年の当り年を楽しみ明くる、よるこんで過したいと思っております。

正しい

チェーンソー作業

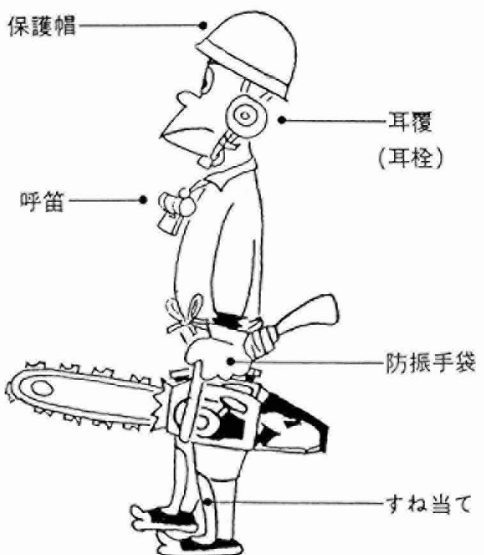
①

町は、昭和五十六年度から五十八年度までの三カ年間、国の助成を得て、振動障害対策巡回指導事業の指定を受けています。

この事業は、民間林業における振動障害問題に対処するため、さらにはその予防措置などの徹底を図るためのものです。

チェーンソーなどの振動機械の取り扱いを誤ると「白ろう病」など非常に恐ろしい病気にかかることがあります。そこで今回から正しいチェーンソーの取り扱い方や健康管理などについて連載します。

なお、町では五城目森林組合の伊藤弥太夫さんを巡回指導員に委嘱して、町内のみなさんのご相談に応じられるように配慮しています。



はきものは、保温性のあるものでスベリ止めのあるものを選ぶように心がけてください。

キが取付いてあること。
 パーの長さは伐木造材のために必要最小限のものであること。
 伐採林分の平均胸高直径と同じくらいの長さとする事が一応の目安となります。

▽服装

・保護服は規格に合ったものを正しく着用し、アゴヒモはしっかりとめてください。

・耳覆い、または耳栓は必ずつけてください。

・作業衣は、暖く、身軽に作業できるものを着用します。ソデじまり、スソじまりはしっかりとしてください。ウデカバーをつけることも良いことです。

・防振、防寒手袋は必ず着用し、手袋はやわらかく、暖かいもので、いつも乾いていることが大切です。

▽チェーンソーの選定

チェーンソーは、安全に能率よく仕事をするために、次のことがらの備わったものを選んでください。

・自分の体格、体力にあったものであること。

・振動加速度値が3g(ジー)以下のものであること。

・騒音ができる限り少ないものであること。

・防振機構内蔵型のものであること。

・できるだけ軽量のものであること。

・排気量40cc以上のチェーンソーは振動加速度値が3g(ジー)以下でないと使用できません。機種ごとの振動加速度値は国立林業試験場で測定し、公表されています。詳しい内容は県の林務担当課、労働基準局、営林署などにお問合せください。
 (林業労働災害防止協会発行チェーンソー作業のしおりから)

新春座談会

新しい地域産業づくりに果す

私たちの役割

昭和四十八年のオイルショック以来、国内外の経済活動は低迷を続け、五十六年ころからは不景気の大合唱となっている。日本の片隅で思っているわが五城目町もその例外ではなく、いろいろな形でその現象が現われている。

しかし、その中において町では、四十四年度に発表した総合開発計画を基に町作りを進めており、学校改築など二・三の懸案事項はまだあるものの、昨年十一月役場庁舎の完成をみるに

およんで、町内の公共施設整備はピークに達したものとみてよいだろう。

さてこれからどうするのか、この町の産業をどのように引き起こしていくのか、町民ひとしく関心のあるところで、その期待もまた大きなものがあると思われる。

一番簡単なことは、工場の誘致を図ればよいとする発言も多いが、景気が悪いと最初に工場閉鎖になつて、用地提供者等そこに働く人々が失業するのまた誘致工場の特徴である。都市に負けないような地域産業を興して、若者たちが定着する町にするためにはどうしたらいいのか、今回のテーマはそこをネライを定めて、町内各界の代表者から心おきなく語ってもらった。

農家の経済状態今一歩

農家はなんといっても天候が一番影響しますが、五十七年は天候に恵まれ二年続きの冷害から豊作といつてもよい作柄でした。余り米も農協だけで一万一千俵くらい出るのではないかと予想されますし、業者分を合わせると一万二千俵くらいになると思います。

一昨年は、米のほか畑作、畜産きのこ類などすべて含めて販売代金は十六億円台よりならなかったが、昨年の推定販売額は二十一億円を見込んでいます。

これは十一月末で農協だけの販売高が二十億円ですから、一昨年よりも四億円多く入ったことは事実です。

ただし、二年続きの冷害で、天災資金あるいはその他の制度資金を利用している関係上、返済の期間に入っているために、農家に四億多く入ってもそんなに余裕がないというのが実状だと思います。

生産意欲の低下を心配

小玉森林組合参事：現在のように最悪の経済情勢の中で、林業関係住宅着工が非常に落ち込んで、五十七年度はピーク時に比べると六割程度の着工率ではないかとみています。それと木材価格の下落、木材需要の低迷また、林家にとっては経営上の諸経費が上昇してい



加賀谷町長

ることで、最悪と思われるような状態であつて林業の生産意欲が低下するのではないかと心配されています。

林業の生産活動が停滞すること、町の主産業である製材加工関係の木材関連産業は不振のどん底であるというような状態です。

各種事業でお手伝いしたい

森林組合としては、今、特に急を要すると思われる間伐について民有林八・一五〇畝のうち間伐適齢期は五〇畝です。戦後植えられた木が間伐を要する時期になっていいますので、いろいろな補助事業間伐促進対策事業、新総合整備事業とか林業構造改善事業など補助金の面でお手伝いしたり、あるいは資金の借り入れの伝手をしながらやってきましたが、まだまだ消化されていない現状です。

非常に苦しい一年であつた

加藤五城目営林署長：今森林組合の参事さんから、森林、林業などについて五十七年の総括を話していただいたが、確かにそのとおりであると思います。

著しい気象変化の克服

町長：日本のように気象条件が著しく変化する国は、私が今まで海外を旅行した国々と比較すると、おそらくほかにはないのではないかと思います。

と総括してよいと思います。

町長：日本のように気象条件が著しく変化する国は、私が今まで海外を旅行した国々と比較すると、おそらくほかにはないのではないかと思います。



加藤堂林署長

したがって、地震、雷、台風などなにかをかかえているというのが実態であると思います。だからなにかがあるという感覚は生きてくる限りあるわけだが、このような問題をどのように処理すればよいかというのが、私たちに課せられた天命であり運命であると思います。このようなことを克服していくことがまず必要であると思います。なにか景気のお話しはないものでしょうか。

司会：五十八年はいったいどのようになるのか、皆さんのところを中心としたお話しをお聞きしたいと思います。

自らの努力の中にかけるべき

加藤署長：非常に難しい質問であると思います。

じを受けます。だからといって、そのままほうってよいわけではないので、自分自身の中での努力をしなければならぬが、その努力にかけるべきではないかと思っています。

不況の中で踏んばりを

小玉参事：木材関係は不況のどん底なわけですが、今年もあまり代り映えのないこのような状態が続くだろうと思います。よい方向にもっていかたいという気持ちはあるので、今一つ踏んばらなければいけないという気がします。

農外収入に頼る

伊藤組合長：このような時代で、ただ、大変だ大変だではどうにもならないわけで、農家の方たちは今なにを考えているのかということとアンケート調査をしました。全農家を対象にしましたが、七〇の回収率でした。

ありました。

過剰投資からの脱却

経営規模を拡大したいけれどたんなりは高い、制度資金はなかなか該当にならない、できれば受委託で規模の拡大をしたいとする意向が強く伺うことができました。

従来、営農指導から、今後は経営指導に主体を置いてもらいたいなどとなっています。

それは、農業機械の過剰投資から脱却したいということから、機械の共同化、なかでもカントリーは非常に高い評価が出ています。

保管米加工用から食用に

そのほか、転作物の販路を産地直販方式にしてみたい。米価のアップは期待できないので、農業収入に対する危機感は皆んな持っていることもわかりました。

営体制にしたいものだと思っております。

販路さえ確保できれば生産農家は増えると思うので、生産部会ですべてを見直しながら、二兆円産業である農業を基幹産業として守るためにもふるいたたせたいと思っています。

心配するほど
人口減はないのでは

菊地会長：商工会とは名のごとく商業部門と工業部門とがあります。が、昨年の夏、県商工会連合会で企画していたマネジメントセンターの方から、全県の統計に対する五城目の評価を発表していただきました。

それによると、六十年ころには五城目は三次産業の従事者が多くなるとしていました。したがって人口は私たちが考えているほど少なくならないという数字が出ていたの、発表の段階ではないかと思うが客観的な情勢においては余裕があると感じています。

先日新聞に出ていたように「よどみに浮かぶ泡沫、かつ見え、かつ消え、かつ結ぶ」というのですが、見方によっては泡であるが見方によっては泡沫というりっぱな言葉にもなったりするような状態ですし、よどみない川の流れるのか、海の潮騒なのかという感じの中に立たされている感じがします。

イトウヨーカドウと戦っても要易でないという感じもします。

林業関係者の立場を強固に

町長：いろいろな悪条件があるというところは、心してからならなければならないと思います。五城目の人たちは悪条件のことばかり意識しすぎるのではないだろうか。よくいえば遠慮しすぎではないかと思っています。

素早い情報キャッチで対応

このようなことを山林所有者が意識して、それを森林組合がよく需給のバランスをとるよう指導していくことが我々の仕事ではないかと思っています。

これはひとり森林組合ばかりではなく、商工会、農協も同じことがいえるわけで、先ほど申しあげたように、作ることも大事だけれども、ハードウェアからソフトウェアへの移行が必要だと思っております。例えば、日本で米が余っていると思っていれば、今不足ぎみの状態であるという。そのような情報を素早くキャッチして、それに対応する方針を農家に示し、農家が一人興行しないように指導していくところに、農協や森林組合はかりでなく町も比重を移していく年ではないかと思っています。

集出荷所のフル活用

昨年は農作物集出荷所もできませんでしたので、市場へ一括納入しておりますが、これも好評を得ており今年は消性的な経営に陥りやすい小規模農家に大いに提言して、全体的な農業収入を上げていくためにもこの集会所をフル活用する経

企業努力と意識革命

企業努力・意識革命ということ腹に据えていかなければならぬと思います。

ただあまり交通の便がよくないと、秋田市の影響が大きくなるし防ぐこともできないので、負けなようにといっても、ジャスコや



菊地商工会長



伊 藤 助 役

司会：テレビで放映されていた北海道の新燃料作り、隣り八郎湯町のハイハイ商法、アロトラベルなど高齢者にねらいを定めた商法などいろいろな創意工夫がみられます。そんなわけで、次に新しい産業作りに果す私たちの役割についてお話しをいただきたいと思ひます。

重要な間伐実施

小玉参事：林家が非常に苦しい立場にあるので、濃密な経営指導をしていきたいと考えています。

また、全体的な平均から見ますと、五城目の林道や作業道網等の整備率は倍以上になっておりますが、理想的な面まで到達するにはまだまだ努力が必要だと思ひます。

将来優良材が一番重要な行程と考えられますが、林道、作業場が整備されていないため間伐が行われないうえに問題になるわけですね。これを整備することで間伐が実施され、生産コストが低くなれば引き合いも出ますので、組合が事業主体となって開設していただきたいと思ひます。

六十年木育成を目標に

いままでは四十年前後、五十年足らずで皆伐というような民有林の場合、六十年以上になれば価格の面でかなり違う状態になるので、今後は少なくとも六十年生以上の木を育てるように指導していただきたいと思ひます。以上の面からいえることは、戦後植えた木を今十分間伐しておくことによって、経済が安定してきた時点で非常に有利に売れるという考え方に立っています。

この分野ではいろいろな助成措置もあるのですが、そのような面で援助していききたいと思ひます。

組合自体としても、林業労働力の問題もありますし、これを確保するために林業労働の組織化をしていきたいと思ひます。

また、五十七年度から木材の市場も開いて、適正な木材の流通を図って林家のために開設しているところであります。

三本の柱のもとに

加藤署長：今日のテーマを直接関係づけて見ていくと、新しい地域産業づくりにも果す私たちの役割というものは、私の立場からいえば営林署の役割ということになるわけ

林署の方は仕事を進める上での三つの大きな柱があります。一つは、木材を計画的に持続的に供給していくこと、もう一つは国土の保全、水資源の確保など広域的機能を発揮すること、三つめは、地域振興への寄与となっております。

そのような意味で私たちとしては、新しい地域産業作り、いわゆる地域の振興のために、積極的に我々のできる役割を果していききたいと考えています。

具体的に新しい地域産業作りというものをどのように捕えるかというところによって変わってくるわけ

他から認められる産業づくりを

私の立場でお話ししますと、五城目町は八三割の林野率になっていますが、これは全国的にみても相当高い数字です。地域の産業として位置づけるためには、その地域に資源があるということが一番大きな必要事項になります。その面では非常に恵まれているわけ

で、農工商と共に林業も地域産業の一つとして大切にしたい。だきたいものだと考えています。もう少し具体的に申しますと、森林組合の参事さんからお話しがあったように、林道、山野のいろいろな施設が相当でき上っています。後になが足りないかというところ

で、町長さんの言葉をお借りすれば、ハードウェアからソフトウェアに移っていくことなのですが、私はその点同感でして、地域産業として他から認められるものが必要であると思ひます。

百年の長伐期を設定して

端的に申しますと、五城目の森林から出る木はこのようなりっぱな木であるという一つのブランドが形成されるということが考えられると思ひます。

そのような点で、町あるいは森林組合が中心になって、五城目の森林所有者の意見を統一して五城目から出る木材というのはこういうものであると、一定の方向づけをしていくような形で取り組んでいただきたいと思ひます。

営林署の役割としてなにかがあるかということですが、この町には全体的にみても木材工業、木材産業があるわけですが、私たちとしては、民間からなかなか出てこないと思われる長伐期優良体形伐を出していくということが役割の一つではないかと思ひます。

その意味で、百年におよぶ長伐期のものを設定して、そういうものを供給していききたいと考えています。

消費者と生産者の立場

菊地会長：商工会の卒直な意見として、工業より商業に見聞きするものが多く関係から、消費者と生産者の立場について述べてみたいと思ひます。

私の前にいらした署長さんは消費者だと思ひます。その隣の参事さんは生産者と結びついていて、役場の職員のかたがたも生産者かつ消費者だと思ひます。その奥さん方はというと、すぐ消費者という立場で考えるもの

ですから、もう一つ裏にある生産に結びついていて消費者という感じを持っていただきたいものだと思います。

このような感じで、金融機関でなくとも地元産業を育成するとい

うことになっていくと思ひます。

商店側のジレンマ

もう一つは、店の側にすれば、町長さんがよくいわれるように、日曜市場とか、もっと店を開けている時間を長くしたらということ

は一つの宿題であると思ひます。これも具体的にせんじつめると

買うにこない人のために従業員を置かなければならないということになります。買う方の立場からいうと、買物に行っても店が閉っているということになっていきますが

本当はどうなんだろうということになれば、また消費者ということに返るというジレンマにいます。

営農累計の設定

伊藤組合長：新しい地域産業作りにも果す私たちの役割というタイトルですが、六十年代を見通して四施行計画を今策定しています。で



小玉森林組合参事

すれば今年度中に出して五十八年からその計画を遂次六十年へ移行し、進めていきたいと考えています。したがって、本町に適した営農累計を設定し、稲作で進むところと米以外の作物で進むところなど基盤整備をしながら計画生産、団地化という方向で進めたいと思ひます。

めざす一〇割のコストダウン

国の方針として五十八年に一〇割の生産コストを下げるということですが、労働力の合理化、機械の効率運用をいかにするかにながりますので、今年、できればモデル農家を設定して、可能な限り生産費のコストダウンに力を入れていきたいと思ひます。

なお、昭和六十五年ころになると、現役の皆さんがほとんどに六十歳以上になるので、必然的に協業化あるいは受委託事業を急速に進めなければならぬと思ひ、五十八年から後継者の転換がスムーズにできるよう計画していききたいと思ひます。

役割住民個人にある

加藤署長：私は今、私たちの役割を営林署の役割という事で話したわけですが、一番大きな意味は住民個人個人すべてののかたがたの役割が大きい意味を持っています。

関係者がこのようにしたいといろいろな行政などでやっています。が、それを実際生きたものにしていく上では、住民の理解と協力がなければならぬと思います。

役割というものは、住民それぞれの役割というように理解すべきではないかという感じを持っています。

値段が高いといわれるゆえに、菊地会長：町の商品は県内ものものと比べてのことと思うが、一般的に高いといわれます。税務署の在庫調査によると、五城目の場合売上げに対して在庫が多すぎるからいがあるということです。

買うに來ると思えば、卸し屋からすぐに持ってくるわけにはいかないで、一着でよいものを三着くらいストックして置かなければいけないわけですね。

客さんの便宜を図れば高くつくような感じになるという商売上のテクニックだとは思いますが、そのへんも少し考えていただきたいものであるという商店の感じですね。

仕入れの段階でほしい一工夫

伊藤組合長：今、菊地会長さんがいわれたところが難かしいところ、これは五城目の町民性であるかも知れないが、農協でもそのようなことがあります。

商品が古くなっているというのは、売れないから古くしてしまいうので、消費者が悪いというのではなく、仕入れの段階で下手なところがあるわけですね。

総合農協といわれるくらい幅広くやっておりますが、供給高は伸びているものの手数料率が下っているため、最終的なトータルは増えていないのが現状です。

取り組む姿勢が大切

今農協で一番成績のよいのは自動車部門です。若い職員たちとお客さんのつながり、農協ローンの有利性などが好結果を生んでいるようです。自動車部門の利益と

いうのは二・五・三・〇割ぐらいで販売額に比べて利益は低いが自動車保険、自賠責、任意、それに資金まで融資する関係から、こちらの方でなんとか採算を合わせております。

なにかいっしょうけんめい真剣に取り組めば、勝っていけるものがあります。

司会：最後に町長から今までのご意見を踏まえて、総まとめをお願いします。

町の有利性と協調性をテコに

町長：五城目はほかから見れば、全体的に有利性が相当あると思います。不景気であること、人口が減少していることは五城目町だけではないわけですね。人口の増えている所は秋田県内では二カ所しかありません。決して悲観することはないと考えています。

この町は減っているけれども、増えているところは隣りであります。だから隣りをお客さんとする事ができれば、町の人口が減っていることを苦にすることはないと考えます。それを組み入れるためにはどういう事をしなければならぬか、それを行うため一つの手立てとして市日の開設日を検討する必要があるのではないかと考えています。

なんといっても事業は人です。最終的には五城目町の堅実性というものの、あるいは協調性というものは最終的には勝つと思います。ただし、協調性もよい意味の協調性、必ずしもプラス面の協調性ばかりではなく、マイナスの面の協調性もあります。我々はなんと

かプラス面の協調性に微力ながら新年度から行政面でも勉強していきたいものだと思います。

総合的な面で町の活性化

五城目町にはいろいろな職人さんがおります。この職人さんたちになんとか関係を持つことができないか、それによって林業などにもつながりが出来てくると思います。町でも矢張崎の高校跡地を五十八年度に処分しようと思っております。そのようないろいろな総合的な面で町の活性化を図っていくたいものであると考えております。

しかし、私ばかりでなく、役職員等も未経験であるし、いろいろ至らないところもありますので私を含めてよろしくご指導くださいますようお願いいたします。

司会：大変つたない司会にもかかわらず、皆さん卒直なご発言ありがとうございました。

今年は、この町全体がすばらしい年になりますようご祈念申し上げます。

出席者(順不同敬称略)

- 五城目町商工会長 菊地 耕二
- 五城目町農業協同組合長 伊藤 準一郎
- 五城目森林組合参事 小玉 幸夫
- 五城目営林署長 加藤 了嗣
- 五城目町長 加賀谷 力司
- 同 助役(司会) 伊藤 卓治

五城目町年譜 革新と変遷

石井金之助

五城目鎮の年譜 (2)

- 一八四一 十二 和田喜代蔵誕生。
- 一八六八 明治元 九月八日、慶応を明治と改元、一世一代の制を定める。
- 一八七一 四 十一月二日、新しい秋田県(現在の県と同じ)ができる。
- 一八七八 十一 菅沢梅蔵誕生。
- 一八八六 十九 六月二十日、秋田大林区署五十ノ目派出所置かれる(五城目営林署の前身)。
- 一八九六 二十九 一月十八日、五十ノ目村に町制が布かれ五城目町となる(初代町長北島孫吉)。
- 一九一〇 四十三 五城目指物山神講中 会員十三名。
- 一九一四 四十四 菅沢梅蔵が果より指物業視察員に委嘱される。
- 一九一六 四十四 四月二十日、五城目指物組合創立、組合長菅沢梅蔵。
- 一九一八 三 十一月二十九日、県木製品展知事坂本三郎褒賞石井敬蔵。
- 一九一五 四 指物組合長菅沢梅蔵、県の委嘱をうけ、指物業の先進地を視察す。
- 一九一六 五 旧五月五日、五城目指物職人組合誕生、初代会長栗山鉄之助。
- 一九一八 七 菅沢指物組合長、県の委嘱をうけて、指物業の先進地を視察す。
- 一九二二 十 十月十三日、五城目町川原町より出火、二百七十戸焼失す。
- 一九二二 十一 指物組合では、秋田号飛行器建造寄附金五円も支出す。
- 一九二二 十二 五城目指物組合総会、役員改選組合長菅沢梅蔵。
- 一九二二 十三 職人組合会長北島久之助と指物組合との工賃の件でストライキ起る。
- 一九二二 十四 菅沢指物組合長、県の委嘱で先進地指物業を視察す。
- 一九二二 十五 組合員石井金之助、東京式桐たんすの製法を導入す。

川をきれいに!!

「川を捨てるのはやめましょう」



五城目町

庁舎落成に数々の記念品

館岡栗山の絵画など

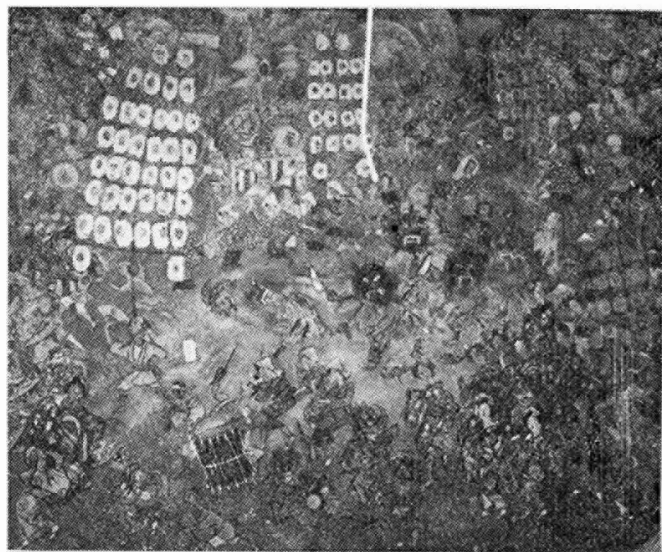
役場新庁舎落成に伴って、関係各方面からたくさんのお記念品、寄付金が寄せられております。

町では、寄贈品を庁舎内に展示し公開しておりますが、この中には館岡栗山の絵画「秋田の芸能」などが含まれております。

記念品を寄贈された方々は次のとおりです。(受付順・敬称略)

- ・黒松 二本
- ・秋田県知事 佐々木喜久治
- ・館岡栗山作「秋田の芸能」絵画 たて一八四cm・よこ二二七cm
- ・(株)秋田銀行
- ・(頭取 井上 了介)

- ・近藤良悦作「男鹿」油彩画一点 たて七二七cm・よこ九一cm
- ・秋田中央交通(株)
- ・(取締役社長 渡辺靖彦)
- ・近藤銈子作「十和田湖」油彩画一点 たて七二七cm・よこ九一cm
- ・(株)秋田相互銀行
- ・(取締役社長 片野賢一)
- ・スタンド灰皿 十二個
- ・古川町 佐藤 友治
- ・灰皿(ガラス製) 五十個
- ・五城目町農業協同組合
- ・(組合長 伊藤準一郎)
- ・長谷川島作「風の子」像木彫 一体



庁舎の玄関わきに展示されている栗山の「秋田の芸能」

- ・協同組合五城目建設業協会
- ・(理事長 長谷川次郎)
- ・五城目町道路元標および道路里程指標の設置
- ・大川設計測量(株)
- ・(代表取締役 大川了)

- ・横領書「真実一路」一点
- ・長町 渡辺誠之助
- ・応接セット 一セット
- ・(株)天童木工
- ・(取締役社長 大山勝太郎)

- ・シフレジーやしの鉢植 一鉢
- ・花の店ささき 佐々木良英
- ・額短歌 一点
- ・浅見内 松橋正之助

- ・掛軸漢詩 一点 額 牡丹 一点
- ・上田町 阿部 ミワ
- ・スリッパ 五十足
- ・和光薬品(株)
- ・(代表取締役 小泉憲雄)

- ・くず入 十個
- ・(株)小田島特販部
- ・(秋田営業所長 越前屋 茂)
- ・ガス台(リンナイ) 一台
- ・秋田東北商事(株)
- ・(取締役社長 小野寺信一)

- ・飾り時計 一個
- ・秋田末広織維(株)
- ・(取締役社長 遠藤 寛)
- ・置時計 一個
- ・富士ゼロックス(株)
- ・(秋田営業所長 伊藤利秋)

- ・また記念品購入代金として寄贈された方々は次のとおりです。
- ・(受付順・敬称略)
- ・百万円
- ・(株)連合設計アクト
- ・(代表取締役社長 斉藤公久)
- ・四十万円
- ・東北電力(株)
- ・(秋田営業所長 星 欣一)

- ・五十万円
- ・五城目森林組合
- ・(組合長理事 加賀谷力司)
- ・二十万円
- ・東北石材建設(株)
- ・(代表取締役 佐藤銀蔵)

- ・三万円
- ・(株)日立製作所
- ・(東北支店長 江渡康二)
- ・十万円
- ・東北電気工事(株)
- ・(秋田支社長 加賀谷力雄)

- ・五万円
- ・大館桂工業(株)
- ・(取締役社長 中田直敏)
- ・二万円
- ・北日電(株)
- ・(代表取締役 安藤敏信)

- ・二万円
- ・協栄ボーリング(有)
- ・(社長 千田長克)
- ・十万円
- ・五城目信用金庫
- ・(理事長 長谷川専治)

- ・十五万円
- ・羽後設備(株)
- ・(取締役社長 佐藤祐司)
- ・五十万円
- ・フジ工業(株)
- ・(仙台支店長 若林武夫)

- ・五万円
- ・ビー・シー技研(株)
- ・(秋田営業所長 佐藤幸男)
- ・三万円
- ・(株)協立
- ・(代表取締役 川間隆一)

- ・五万円
- ・(株)緑設計
- ・(代表取締役 渡辺建紀)
- ・百万円
- ・松橋建設(株)
- ・(代表取締役 松橋喜広)

- ・秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。
- ・五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。
- ・ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

- ・秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。
- ・五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。
- ・ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

- ・秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。
- ・五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。
- ・ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

- ・秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。
- ・五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。
- ・ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

- ・秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。
- ・五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。
- ・ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

- ・秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。
- ・五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。
- ・ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

- ・秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。
- ・五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。
- ・ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

特例一時金受給者
求職受付けは木曜日
午前8時40分~50分

秋田公共職業安定所では、昭和五十七年十二月十三日から五十八年二月十八日まで求職受付け(雇用保険の手続き含む)を町村別に曜日と時間を指定して行います。五城目町在住の方の受付けは、毎週木曜日の午前八時四十分から八時五十分までとなっています。ただし、この時間指定は、特例一時金受給者の方に限りです。

町内の施設で分散分科会

第27回全県青年問題研究会
秋田県連合青年会主催の第二十七回全県青年問題研究会は、一月十四日から三日間の日程で、町民センターを主会場に赤倉山荘、恋地山荘、大川農村環境改善センターを使用して開かれます。

この研究集会は、より良い地域づくりに対する青年運動の方向性を見いだそうというもので、県内から各地域で青年運動を展開している約三百人が参加し、日ごろの実践活動のレポートをもとに、十の分科会に分かれて意見を交換します。

過去、第四回と第十三回の研究集会は五城目町において開かれて

▼第一部門
組織を拡大、強化するための活動
・第一分科会 青年会の拡大強化
・第二分科会 青年会と学習活動
・第三分科会 青年会と情報宣伝活動
・第四分科会 女子青年の活動を発展させるために

広報文芸



元旦の古里礼讃

小林 露丘

美しい音色のオルゴールに夜は明ける
一富士 二鷹 三茄子び
人々の夢はどんな夢か
やがて今年の幸を一ぱいはらんだ初日が
燦然と昇る

山と川のある町

そして数知れぬ橋のある町

起伏の大きい連山

樹海は東と北に無限の資源

白一色の沃野と集落の中を

人々の正邪と功罪と興之の

千古の歴史を秘めて川は悠々と流れる

無数の橋は美しく情緒を添えている

馬場目岳に源する川

赤倉山に源する川

湯ノ越山に源する川

三筋の川の合流は豊々たる沃野を流れて
はるか湖に入ります

シンボル森山の麓の森の頂上に

建造中の城の台座が見え初めた

まぼろしの城

砂沢城が数層の上に天主閣の勇姿を

くっきりと浮はせるのも遠くはあるまい

山と川と城のある町

五城の名の如く歴史はよみ返る

古語にいづく

城のある町は必ず栄える

初日は希望をはらんで燦然と昇る

希望の鐘は躍進を告げて鳴る

(一九八三・元旦)

五城目短歌会 新年詠

掃省子にクリスマスケーキ買い置きてささや
かながら初年祝えり 佐藤 流水

餅つきて送りしことも新たな年を迎うる行
事となりぬ 佐藤 栄子

はるけき日われのとらえしものひとつ光の如
く時に見えて来 齊藤 諒一

若き頃のことなど語りし同級会友も老いたり
顔にしわよせ 錦織 ヨネ

幼な日の二銭銅貨のお年玉手にこたえしを孫
等に語る 工藤 留松

開かれてそのまななりし娘の楽譜よりひそや
かに春の唄は息づく 田口 明子

雪晴れのあしたようよう森山を過ぎてつ春の計
を語らう 飯塚定四郎

はたはたの触れごえひびく山里に明るくけさ
の雪は降りつぐ 松橋正之助

にぎわしき旅立ちのごときらめきて稚魚放た
るる奈曾の川面に 伊藤チヨエ

燈台へ去年より続くうねり波明けゆく海のそ
の沖波し 土橋 茂徳

こまどり俳句会 新年詠

ねずみ来し跡ありまな板初めかな 佐藤 流水

初詣いつもながらの神仏

一月の人の流れにわれもあり

一月の鏡にたるわれとかな

一月の人事のことにこたわらず

久々の年賀に戦友の無事を知る

森山の雪も輝く初日かな

工藤 上山

昭和58年新年吟 黛吟社

声あげて初日を呼べり丘の上

芯松と寒菊を床の飾り花

初空へ森山の塔毅然たり

伊藤 碧山

北島 耕子

佐藤 羊村

百姓の冬の洗面ひびく音
未だ熱き昨夜の風呂を初風呂に
子等のことのみの願いや初詣
身を支う我が足撫でて初詣
薬社丹に風が神話をはこび来る
はたはたの売り声もなく年は明け
しめ張って奉る心に年迎う
路地つたう琴の響きや謡始め
初晴れや町旗はためき新庁舎
ふるさとの山川親し初詣

石井 進
小林 与根子
伊藤 芳穂
北嶋 温石
齊藤 諒一
伊藤 雅光
齊藤 耕之助
伊藤 正蔵
佐藤 流水
草皆 茂樹

「新年句」 館町川柳楽しみ会

新婚の夢がなかった松飾り
出稼ぎを近況で囲みおとそ酌ぎ
めでたさが重なり居る座が弾む
賀状読む一枚一枚顔がある
正月の料理手軽に核家族
豊年へ真赤に燃える初日私語
初陽射すスタートライン賦って発つ
年変わりちよびり私も変身す
天皇の万歳で明ける国の春

細田 陽炎
本間 玉女
加藤 円心
本間 酒好
嶋崎あやめ
伊藤 酒泉
長沢 仙里
長沢 山女
石川 富司

婦人会川柳クラブ新年吟

年賀状心を丸くして読まれ
新しい年に夢盛る今朝の雪
若水で蛇口ふるわす初詣で
日曆を替えて余生の夫婦独楽
新春の我が家に猪二匹座し
百八つで洗い落して新春迎え
初春に家族が揃う雑煮箸
設計図抱いた二人に初春の夢
新雪を踏めばさくさく愛の音
趣味ひとつ夢をつないで老いの新春
まだ夢があつて六十路の初詣で
自画像を雪の白さへ晒しおく
割烹着の白から明けるお元日
健康を祈る十指の初詣で
元朝へ絵となる母の寒の水

本間 静江
千貝みどり
佐藤 ミネ
佐々木敏子
伊藤 キミ
佐藤 江
福島 ミツ
八木下みさる
藤原 文
平川みづえ
佐藤 貞
鍋谷 福枝
草皆 福枝
渡部 姚子
松田ウタ子

川柳すずむし吟社 新年吟

風上げを羨しむ父を見ている子
新たな決意を抱く除夜の鐘
限りなく夢を描ける雪の白
兄弟の顔みな揃う初春三日
元日も働く汗を誇りにす
バラ色の初夢がある子の寝顔
神楽殿にメルヘンの雪が降る
天に酌み地に酌みこしの夢に酌む
中年の生き甲斐居るでみちてくる
若水に今年こそはと湧く力
後退の文字は私の辞書にない
逆転の秘策新年燃えてくる
屠蘇酌んでしんみり過去のこと触れ本庄
初富士や日本を薬土にして晴れる
何色で塗ろうがことしの絵具皿
無事越した厄あしたへの布石とす
初日の出一家の無事をまづ折り
河童老い残り少ない皿の水
虫歯抜く決意の口にしみる屠蘇
猪は俺に似ておるかも知れず
年男挑戦状を持ち歩るき
陽光にくっきり浮かぶ新庁舎

加賀谷千両
齊藤 晋
島山 雨城
坂谷 竹林
渡部 光人
中川 貞子
細田 陽炎
加藤 円心
一関 北柳
和田 土筆
渡辺 松風
荒川 祥一郎
越後 一蝶
今野 一城
猿田 寒坊
荒川 紫陽花
渡辺 銀雨
佐藤 一声
荒川 三及
柴田 銀河
川上 哲也

出稼ぎでのトラブルは 行政相談委員へ

出稼ぎ先での仕事について、困っていること
や納得のいかないことがありましたら、行政相
談委員に相談してください。
町の行政相談委員は、長谷川豊さん(一番町
2238)です。長谷川さんは十年以上、行
政相談委員を勤めているベテランで、どんな小
さなことも相談に応じてくれます。
相談は直接、口頭でお話しされるのが、一番よ
い方法ですが、電話や手紙でもかまいません。
相談者の秘密は守りますし、無料です。

